



12 / 7

「学長ほっとライン」学長表彰式を開催

12月7日午後3時30分より、「学長ほっとライン」学長表彰式が行われました。これは本学の「新生」に向けた取り組みを推進するための施策として、林学長が窓口となり、広く教職員から提案やアイデアを集めることにより、今後の改革への足掛かりとするものです。

10月17日～11月16日の約1カ月の募集期間に全キャンパスから63件の応募があり、その中から学長企画PTで選考の結果、3名の方が学長表彰に選ばれました。（なお茨城の受賞者1名には後日、茨城で表彰式を行いました。）

これらのアイデアを優先的に実現させるため、具体的に検討を進めていき、今後進捗を報告していきます。またその他のアイデアやご提案についても、各施設・各担当部署に伝え、改善・推進をはかっていく予定です。



林学長と表彰者：土屋さん(左)・油川さん(右)



学長表彰されたアイデアをご紹介します!

[*学長表彰アイデアの詳細はこちらから\(学内専用\)>>](#)

表彰式に立ち会った職員のみなさんの声

- ▶ 様々な職種の方からの意見が共有されるよい機会
- ▶ 表彰者の意識の高さに感心した
- ▶ 素敵なアイデアがたくさんあり、次回は私も表彰いただけるような意見を出したい



[アイデア] 学生時代からのメンタルケア教育の実施

メンタル不調による休職者が増加傾向にある昨今、不調になってからの後手の対応ではなく、不調にならない予防のためのシステム構築が急務です。

それが学生時代に「教育」という形で実施可能となることが予防につながるのではないかと考え、メンタルケア教育の実施を提案しました。

僭越ながら、私がお手伝いさせていただくことができれば幸いです。

*メンタルケア教育とは…ストレスマネジメントスキル(睡眠、栄養、リラックス法などを含む)、コミュニケーションスキル、自己理解等、社会人として健康に働き続けるために役立つセルフケア・セルフコントロールの知識を学習する機会を与えるものです。

大学病院 人事課 健康管理室 土屋由美さん

■ひとこと

普段、臨床心理士として、院内相談窓口の相談担当をしております。「愚痴なんだけど」「こんなこと言っても仕方がない」ではなく「組織改善への提案」という思いで、私自身も「挑戦」してみました。



[アイデア] よい講義の活用 (e自主自学とHPを使い、良質な講義を公開)

「もう一度受けたい講義だね」「必見の講義」「あれはすごい講義」など学生の間で評判のよい、優れた講義が東京医科大学には存在します。

よい講義を一回限りのもので終わらせるのではなく撮影して、学内外に向けて「公開」することで、学生も復習でき、他の教員の刺激にもなり、学外に向けた「教育の質の高さ」を発信できるのではないかと考えました。

教員の皆様の珠玉の作を有効利用して、大学の教育を内側と外側の両方から刺激して盛り上げていきたいです。

大学 医学教育学分野 油川ひとみさん

■ひとこと

医学教育に関わる仕事を通して、「いい講義」が過去のものになっていくことに、もったいなさを感じていました。「いい講義」は教員の情熱の詰まった「Art」だと感じています。このArtを活用し、次の力を生み出していければと思います。



*[e自主自学]とは…東京医科大学の学生と教職員専用のeラーニングポータルです。「オープンコース」のみ、どなたでも「ゲスト」としてログインしてアクセスできます。

12 / 14

学長表彰式を茨城でも開催

12月14日、午後3時45分より、「学長ほっとライン」の学長表彰式が茨城医療センターで行われました。小林病院長を始め、会議の為に林学長とともに茨城を訪問中の矢崎理事長も表彰に立会い、終始和やかな雰囲気の中、林学長自ら受賞者に表彰状が手渡されました。



【アイデア】「ちょっといいですか？」をひとり5分設定

— 「周りに提供する時間」を、自分から確保・提示してみませんか？ —

- スケジュールが見えにくい人がある
- 先輩医師にいつ声をかけていいかわからない
- こんなこと今さら聞けない
- いつでも聞けることはつい後回しにしてしまう
- 『後にして』が口癖
- 電話してほしくない時間帯に限っていつもかかってくる
- 進捗報告をしない人がある

いくつチェックが付きましたか？ひとつでも当てはまれば、まずは自分から「周りに提供する時間」を確保・提示してみませんか？いつも忙しくされている人ほど、たった5分のオープンな時間が、最終的には、自分の時間として大きくなって返ってくるのかもしれない。

目的は、働き方改革における自分時間の効率化です。目標は、風通しのよい環境を作ることです。

明日から無料で誰でもできることを一日5分から。ぜひご考慮くださいませ。

茨城医療センター 内科(腎臓) 後藤直美さん

■ひとこと

日頃お世話になっている先生方をはじめ、東京医科大学に関係する全ての方に『東京医科大学でよかった』と感じていただきたいと思い応募しました。

この受賞をきっかけに新生に向けた改革推進に、少しでも貢献できるよう努力して参りたいと存じます。



✿ 林学長より ✿



今回、学長ほっとラインを設置したことで、大学の中のことが見えてきました。よい意見がたくさんあり、どれも実現させていきたいものばかりでした。

学長表彰以外にも、好評価だったアイデアをいくつかご紹介させていただきます。

適正な保険診療に対する表彰の設置

市民公開講座の充実、他、教職員向け講習会の開催

教職員交流スペースの設置、研究交流、スポーツ大会による交流

職場紹介パンフレットの発行、職場の見える化推進

ペーパーレス化の推進と資料の電子保存・共有

12 / 17

学長ほっとラインを再開、常設

今回、応募アイデアの中でも、学長ほっとラインの延長や継続、常設などの要望を多くいただき、ほっとラインを再開し、常設することになりました。

引き続き、みなさんのアイデアをお待ちしています。

■大学HP>教職員の方>学長ほっとライン(学内専用)

Tokyo-Med Good News

「THE世界大学ランキング2019」で東京医科大学が801-1000位にランクイン

イギリスの教育専門誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーション(Times Higher Education)が実施している「THE世界大学ランキング2019」が2018年9月26日に発表されました。

本ランキングは、「教育力(学習環境)」「研究力」「論文の被引用数」「国際性」「産業界からの収入(知財移

転)」の5つの観点から、それぞれの項目を数値化して客観的に評価されるもので、本学は今年がはじめてのエントリーでしたが、801-1000位にランクインしました。

特に本学は、「Teaching」と「Citations(論文引用)」に関する項目に関しては、日本からランクインした103校中、二つの項目ともに16位となっており、この評価は今後の国際交流にも役立つものと考えます。

